

## 《ザ・パークハウス『SUPER MODEL ROOM』メディア発表会 レポート》

## 富永愛さん、“デジタルツイン”の富永愛さんと共演！

## 仮想空間のモデルルーム『SUPER MODEL ROOM』をルームツアー

国内初<sup>(※1)</sup>の直接広告起用となった“デジタルツイン”の富永愛さん

富永さん本人も「声までそっくり」と驚き「歳を重ねることもポジティブに」誕生日サプライズにコメント

三菱地所レジデンス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役 社長執行役 員：宮島正治）は、2022年7月28日（木）から、新築分譲マンション「ザ・パークハウス」の仮想空間『SUPER MODEL ROOM』の特設サイトをオープンしました。この仮想空間には、三菱地所レジデンスと直接広告契約を締結したデジタルツインレーベル<sup>(※2)</sup>公式“デジタルツイン”の富永愛さんが入居します。著名人本人ではなく、デジタル空間での活躍の場を広げるデジタルツインとの直接広告契約は、国内で初めて<sup>(※1)</sup>実現する取り組みです。これに伴い、富永愛さん本人と、“デジタルツイン”の富永愛さんをゲストとして、ザ・パークハウス『SUPER MODEL ROOM』メディア発表会を開催いたしました。

※1：2022年7月28日現在、サイバーエージェント調べ。デジタルツインの定義に基づき、次に記載のキーワード調査を実施。  
 (Google検索/PR TIMES内：「デジタルツイン」「バーチャルヒューマン」「デジタルヒューマン」「CGヒューマン」「バーチャルモデル」「デジタルモデル」「CGモデル」)

※2：サイバーエージェントが提供する「デジタルツインレーベル」は、著名人の「分身」となる公式3DCGモデルを制作・管理し、著名人のデジタルツインをキャストするサービスです。本人の活躍に加え、デジタル空間でのデジタルツインによる活躍の場を創出し、その新しい価値づくりに取り組んでいます。



## ■デジタルツインの広告起用に「新しい価値提供を」

当日は、三菱地所レジデンス株式会社 C・DX 企画部 副部長 中村一成が登壇。中村からは、顧客にとって新しいブランドコミュニケーションの一環として「ザ・パークハウス『SUPER MODEL ROOM』プロジェクト」を立ち上げたことや、脱炭素の取り組みを加速して、2030年までに2019年比50%のCO2削減を目指していることについてのプレゼンテーションを行いました。



## ・環境に優しい生き方や価値観に共感し、“デジタルツイン”の富永愛さんと直接広告契約を開始

その後、株式会社CyberHuman Productions 取締役桐島ローランドも登壇し、“デジタルツイン”の富永愛さんを広告キャストした今回の取り組みについてトークセッションを行いました。

デジタルツインとは「もう一人の自分」であり、「時間のコスト」や「コロナ禍での活動制限」の観点から需要が高まっているとコメント。業界全体に可能性を広げる取り組みの中で、富永愛さんのデジタルツインと直接広告契約を行ったことに、中村C・DX企画部副部長は「世界的なファッションアイコンであると同時に、ストイックに自分を磨きながら、サステナブルで環境にやさしいライフスタイルを発信する富永さんは、弊社が目指すビジョンに相通じるところが多くある」と起用背景をコメントしました。

中村C・DX企画部副部長と桐島取締役は、この取り組みを通じて、「チャレンジし続ける彼女に新しい刺激を与え、新たな価値提供を行っていきたい」と、今後の展望を語りました。

## 富永愛さん、“デジタルツイン”の富永愛さんと並んで登壇

### ■ 富永さん「声は似ているというか、一緒ですよ」 容姿や声までそっくりな様子に感動

三菱地所レジデンスと直接広告契約を結ぶこととなった“デジタルツイン”の富永愛さんと、富永愛さん本人が登場。“デジタルツイン”の富永愛さんより「愛ちゃん、紹介ありがとう。こうしてお話するのは初めてね。“デジタルツイン”の富永愛です。住む家も決まったし、今日から私の新しい人生が始まります」と、音声合成で作られた、本人そっくりな声で自己紹介し、会場は驚いた様子でした。

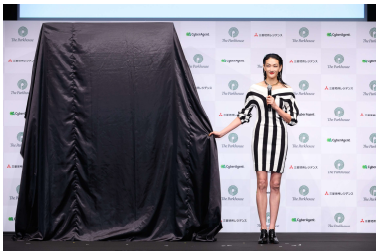
スタイルはもちろん、表情や声などの細部に至るまで再現されたデジタルツインに、富永さん本人も「なんだか不思議ですよ。今日は衣装も揃えて来たのですが、凄いです。本当にリアルでそっくり。まばたきもする！」と感動していました。デジタルツインをより本人に近づけるため、スタイルやビジュアルに時間をかけ制作が行われたことの説明を聞くと「声は似ているというか、一緒ですよ」とコメント。精密に再現されたご自身の声に驚きつつ、納得の表情を浮かべていました。



### ■ 「素敵な空間でお料理をして、楽しむ時間を作りたい」 富永さん流の自宅の過ごし方も紹介

続いて、“デジタルツイン”の富永愛さんが入居する『SUPER MODEL ROOM』のルームツアーを開始。“デジタルツイン”の富永愛さんより、部屋のこだわりポイントを解説しました。個性を表現したエントランスから、和モダンでスタイリッシュなリビング・ダイニングまでをツアー。『SUPER MODEL ROOM』の機能のひとつである、“デジタルツイン”の富永さんと会話ができるチャットボットに、富永愛さん本人から質問する場面もありました。

MCから『SUPER MODEL ROOM』のこだわりの空間について感想を聞かれると、「お家の中もサステナブルな家具を使っていたり、エコの観点からもこだわっていただいたので、まさに理想の部屋です」とコメント。さらに、オープンキッチンについても聞かれた富永さんは「素敵なお部屋ですね。お休みの時はゆっくりお料理を作って、親しい友人たちと楽しむ時間を作りたいです」と休日の過ごし方も教えてくれました。



## 富永愛さん、“デジタルツイン”の富永愛さんへバースデーサプライズも

### ■ 「歳を重ねていくことをポジティブに」 富永さん自身の抱負についても言及

発表会終盤では、8月1日は富永さんのお誕生日と、8月で誕生から1年を迎えた“デジタルツイン”の富永愛さんを祝して、バースデーケーキのサプライズがありました。

突然のお祝いに驚きながらも笑顔を見せ「これから先もモデルとして活動出来るように、自分自身も精進していきたい。新しい挑戦の俳優業も」と抱負を語りました。また、「自分自身が納得できるように年齢を重ねていきたい」と、今後の自分にも期待を込めました。



## ■ 富永さん「健康でいることが美に繋がる。オリジナル調味料で食生活を心がけ」

イベント後半の代表質問では「最近ハマっている料理は？」という質問に富永さんは「発酵食品を今年からずっと食べていて、調味料も自分で作りますし、健康でいることが美に繋がると思うので、健康的な食事を作るようにしています」と、自身の健康管理や美に繋がる意識を話しました。また、「デジタルツインで特に見て欲しい部分は？」という質問については「ヘアメイクにこだわったので、リップの色やスタイリングも見て欲しい」と答えました。

そして、「最近体験した初めてのこと」を聞かれると「殺陣のレッスンを始めたので、いつか時代劇に出演したいと思っています」と、今年の目標を語り、発表会は拍手で終了しました。

### 特設サイト『SUPER MODEL ROOM』について

『SUPER MODEL ROOM』とはデジタル上にモデルルームを設置した新サービス。“デジタルツイン”の富永愛さんは、モデルルームに住む案内人として、こだわりの部屋のルームツアーを実施します。エントランスから、リビング・ダイニング、キッチンやバルコニーまで、計9空間の様子を、いつでも自由に訪れることが可能です。こだわり抜かれた家具や小物には、サステナブルの要素を意識したものもあり、一つ一つのプロダクトにコメント出来る機能も搭載。一部、表示されるハートマークをクリックすることで、ディテールページに移行できる誘導サービスも。また、チャットボット機能では、再現性の高い“デジタルツイン”の富永愛さんの音声での返答があり、リアルな会話を楽しむことができます。

『SUPER MODEL ROOM』 URL : <https://tph-pr.mecsumai.com/>

### 「ザ・パークハウス『SUPER MODEL ROOM』メディア発表会」実施概要

- 日時 2022年7月28日（木）12:00～13:00
- 会場 丸ビルホール（〒100-6307 東京都千代田区丸の内2丁目4-1丸ビル 7階）
- ゲスト 富永愛さん / “デジタルツイン”の富永愛さん
- 登壇者 三菱地所レジデンス株式会社 C・DX企画部 副部長 中村 一成  
株式会社CyberHuman Productions 取締役 桐島ローランド
- 内容 主催挨拶 / 『SUPER MODEL ROOM』概要説明・主催トークセッション / “デジタルツイン”の富永愛さんによる自己紹介 / ゲストトークセッション / 代表質問 / フォトセッション

### ゲスト情報



## 富永愛（とみながあい）

17歳でNYコレクションにてデビューし、一躍話題となる。以後、世界の第一線でトップモデルとして活躍。モデルの他、テレビ、ラジオ、イベントのパーソナリティ、女優など様々な分野にも精力的に挑戦。日本人として唯一無二のキャリアを持つスーパーモデルとして、チャリティ・社会貢献活動や日本の伝統文化を国内外に伝える活動など、その活躍の場をクリエイティブに広げている。公益財団法人ジョイセフ アンバサダー、エシカルライフスタイルSDGs アンバサダー（消費者庁）、ITOCHU SDGs STUDIO エバンジェリスト